

どまつり名古屋学生チーム

「台湾元気に」迫力演舞

【桃園(台湾)＝並木智子】台湾北部の桃園市で二十二日、旧正月を祝う祭典「台湾フ」に、どまつり名古屋学生チームが参加し、迫力ある演舞を披露した。



声援を受けながら力強い演舞を披露する名古屋学生チーム。台湾・桃園で(並木智子撮影)

「どまつり」が昨年にも引き続き出演し、力強い演舞を披露した。

フェスティバルは、台湾観光局が毎年場所を変えて開催。色鮮やかな無数のランタンと勇壮なパフォーマンスが繰り広げられる。

鯨は、岐阜大の学生らも特別に加わり、総勢七十人で出演した。今年は「思いのままに突っ走れ！」をテーマに夢を追い、かなえたときの胸の高鳴りを盛大に表現した。

大通りでのパレードでは、沿道から手拍子と声援を受けながら堂々と笑顔で披露。特設ステージでも勢いのあつた演舞を繰り広げ、訪れた大勢の観客を熱くした。

代表の愛知教育大二年吉田悠将さん(20)は

「地震があつて沈んでいるときだと思つた。僕たち学生の元気で前向きに突っ走る方向になればうれしい」と話した。

鯨の出演は三年連続で、ほかに三重県の安濃津よさこい合同チーム「HAPPY ARC HIVE」などが参加した。